

昭和59年度

日本優秀デザイン

商品開発指導事業実施報告書

北海道

青森県

岩手県

秋田県

宮城県

山形県

山形市

栃木県

埼玉県

神奈川県

滋賀県

和歌山県

広島県

鳥取県

香川県

福岡県

大分県

佐賀県

鹿児島県

沖縄県

(財)日本産業デザイン振興会 ㊦ 事業事務局

〒105 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル別館4階

TEL 03-431-0714(直通) / 435-5633・5634、FAX 03-432-7346

昭和59年度日本優秀デザイン商品開発指導事業地方庁別実施概要

●地方庁	●単位	●指導対象業種・品目	●専門指導員	●指導日
北海道	3	FRP(ユニットバスなど)(札幌市)	百島祐忠	59. 12/3~12/4
		土産品パッケージ(函館市)	八尾武郎	59. 10/11~10/12
		食品パッケージ(札幌市)	八尾武郎	59. 11/8~11/9
青森県	3	小木工品、竹製品	宇佐波徳美・小畑広永	60. 2/12~2/13
		パッケージデザイン	藤田実	60. 3/5~3/6
岩手県	1	食品パッケージ	八尾武郎	60. 2/20~2/21
秋田県	2	曲わっぱ(大館市)	羽生道雄	59. 12/10
		桶、樽、小木工品(能代市)	羽生道雄	59. 12/11
宮城県	2	漆器(ディスプレイ)(鳴子市)	宇佐波徳美	59. 9/6
		めん類(白石市、蔵王町)	八尾武郎	59. 10/8~10/9
山形県	1	スリッパ、カーペット	大川 允	59. 9/26~9/27
山形市	1	全般	森口以佐夫	60. 1/18
栃木県	1	土産品のパッケージ及び包装紙	八尾武郎	59. 11/28
埼玉県	2	シーツ、タオル製品(所沢市)	楠見昂	59. 11/20, 60. 3/22
		アパレル製品(行田市)	米倉明人	59. 11/6, 11/26
神奈川県	1	食卓、室内用品(箱根)	宇佐波徳美	59. 12/17~12/18
滋賀県	1	陶器、食卓用品(信楽)	佐久間幸	60. 2/7~2/8
和歌山県	2	漆器、菓子パッケージ(海南)	八尾武郎	60. 1/28~1/29
		家具	山岸桓史	60. 2/15
広島県	1	全製造業(トップマネジメント)	坂下清	59. 12/13
鳥取県	1	観光土産品パッケージ	藤田実	60. 3/14~3/15
香川県	1	醤油・佃煮パッケージ(小豆島)	八尾武郎	59. 9/28
福岡県	1	繊維(タオル中心)(久留米)	山崎昌久	60. 3/6~3/7
大分県	1	食品パッケージ	渡辺和子	60. 2/28
佐賀県	1	陶磁器(有田、伊万里)	榮木正敏	60. 2/14~2/15
鹿児島県	2	大島紬	林大功	60. 3/19~3/20
		食品パッケージ	和田亨	60. 3/19~3/20
沖縄県	1	繊維(織物)(与那国)	山岸桓史	60. 3/26~3/27

北海道

北海道商工観光部工業課地場工業係
060 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.(011)231-4111

現地指導員

菅又淳悦 北海道立工業試験場工芸部長
060 札幌市北区北19条西11丁目
TEL.(011)742-2211

①現状

①FRP(ユニットバスなど) (札幌)

本道におけるFRP製造業の大部分の企業は、本州企業の下請を含め、一次・二次の下請加工にとどまっており、自社商品の開発というものが達し得ないのが現状である。また、冬季間の積雪・暖房等による環境の問題、さらには労働雇用による問題などのさまざまな難課題を抱えている。よって今後は、この難課題を克服し、かつ企業独自の商品開発を進め、活性化を図る必要がある。

②土産品パッケージ(函館)

本道の観光土産品(菓子・水産加工品等)業界に関しては、零細中小企業がほとんどを占めており、さらに、近年では観光客の購買単価の低下とニーズの多様化によって、経営状態が非常に厳しいものとなっている。

今後は、その改善策として、パッケージデザインやネーミング等の向上に重点をおいた商品開発が必要となってくる。

③食品パッケージ(札幌)

本道の工業は、食料品や木材・木製品などの地場資源利用型工業が大半を占めており、特に、食料品はその全体の37%を占めている。

しかし、そのパッケージにおいては、本州等に比べ劣っているとされ、その改善策が問題点となっている。

②実施概要

①FRP(札幌)

第1日 「技術革新とFRP産業、そのデザインコンセプト」をテーマに、1.新素材の動向とFRP産業のかかわり合い、2.1990年代から21世紀へのFRP加工業の戦略、3.CAD、4.新素材における日本の国家プロジェクト、等の論点で、主に経営者に

対する指導を中心として講演が行われた。
第2日 技術者に対する指導を中心に、1.複合材料のコンセプトおよび複合の理論、2.2次加工法の開発と進歩、3.最近の注目すべき成形品、等を論点に講演が行われた。

②土産品パッケージ(函館)

第1日目 基本指導—パッケージデザイン・ネーミングの面から見た商品開発の進め方

第2日目 開発指導—個別に企業約10社を対象として面談指導を行う。

③食品パッケージ(札幌)

第1日目 午前—基本指導(講演)
午後—開発指導(3企業程度個別面談指導)

第2日目 開発指導(5企業程度・個別面談指導)

③指導日

①FRP(札幌)

昭和59年12月3~4日

②土産品パッケージ(函館)

昭和59年10月11~12日

③食品パッケージ(札幌)

昭和59年11月8~9日

④指導場所

①FRP

札幌市

②土産品パッケージ

函館市

③食品パッケージ

札幌市

⑤専門指導員

①FRP(札幌)

百島祐忠 (株)コンポジットシステム研究所
代表取締役

②土産品パッケージ(函館)

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所
代表取締役

③食品パッケージ(札幌)

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所
代表取締役

⑥指導対象業種・品目

①FRP(札幌)

強化プラスチック製品製造業
(ユニットバスなど)

②土産品パッケージ(函館)

土産品パッケージ(菓子類・海産物)

③食品パッケージ(札幌)

食料品製造業(パッケージ)

⑦指導対象組合・企業

①FRP(ユニットバスなど) (札幌)

北海道FRP工業会

②土産品パッケージ(函館)

(社)北海道観光土産品協会

③食品パッケージ(札幌)

札幌商工会議所

青森県

青森県商工労働部観光課物産班
030 青森市長島1-1-1
TEL.(0177)22-1111

現地指導員

金沢昭夫 青森県木工指導所意匠課長
成田卓夫 青森県木工指導所主任研究員
030 青森市八ツ役字芦谷202-4
TEL.(0177)39-8551
九戸真樹 青森県工業試験場漆工課技師
036 弘前市大字袋町80
TEL.(0172)32-1466

①現状

本県の観光土産品業界は小規模企業が多く、県内主要観光地において占める割合も他県の製品に押されがちである。今後は、高速交通体系の整備等により観光客の入込増が見込まれ、それに伴い、観光客の志向に合った新商品の開発が必要であるとされる。

そこで、改善策としては、継続指導を実施しているヒバ曲物・ブナコ漆器を中心とし、観光土産品的要素の強い小木工品・陶器等の開発指導を進める一方、パッケージデザインについても購買意欲を高めるための研究改良に取り組む考えである。

②実施概要

①小木工品・竹製品

集中指導・企業個別巡回指導

第1日 各メーカーより持参した製品について実施指導を受けた。

第2日 各企業を巡回し、直接工場生産に関する指導を受けた。

②パッケージデザイン

多企業集中指導

各メーカーより持参したパッケージデザイン(食品類)について実施指導を受けた。

③指導日

①小木工品・竹製品

昭和60年2月12～13日

②パッケージデザイン

昭和60年3月5～6日

④指導場所

①小木工品・竹製品

青森県工業試験場(12日)

青森市・弘前市(13日)

②パッケージデザイン

青森県工業試験場(5日)

青森市文化会館(6日)

⑤専門指導員

①小木工品・竹製品

宇佐波徳美 (有)ウサナミデザイン研究所
代表取締役

小畑広永 (有)HILOデザイン研究所
代表取締役

②パッケージデザイン

藤田実 (株)YAOデザイン研究所
チーフデザイナー

⑥指導対象業種・品目

①小木工品・竹製品

ヒバ曲物・ブナコ漆器・あけびづる細工・
民芸品等

②パッケージデザイン

パッケージデザイン(食品等)

⑦指導対象組合・企業

①小木工品・竹製品

青森ひば民芸家具、ブナコ漆器製造(株)

②パッケージデザイン

県内製造販売業者、パッケージ業者

岩手県

岩手県商工労働部商政課物産貿易係
020 盛岡市内丸10-1
TEL.(0196)51-3111

現地指導員

高橋勇介 岩手県工業試験場
主任専門研究員

湯口靖彦 岩手県工業試験場
主任専門研究員

020 岩手県紫波郡都南村津志田26

TEL.(0196)36-3640

①現状

岩手県の食品業界は、消費者の生活様式・嗜好等の変化への的確な対応をせまられており、そのための全国的レベルでの改善・開発指導が必要とされている。

特に、本県の特産品としての商品開発あるいは改善によって地場企業の育成が重要な課題である。

②実施概要

商品のデザインに関する講演会を含め、商品、パッケージのデザイン改善、消費者ニーズにマッチした新製品の開発、さらには、生産者持参の商品に直接指導を行った。

③指導日

昭和60年2月20日、21日

④指導場所

岩手県民会館

⑤専門指導員

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所
代表取締役

⑥指導対象業種・品目

食品パッケージ

⑦指導対象組合・企業

県内の特産品(食品)製造業者

秋田県

秋田県工業技術センターデザイン部
010-16 秋田市新屋町字砂奴寄4-1
TEL.(0188)62-3414

現地指導員

石山昌孝 秋田県工業技術センター
主任専門研究員

010-16 秋田市新屋町字砂奴寄4-1

TEL.(0188)62-3414

①現状

①曲わっぱ(大館市)

この産地は昭和55年度に伝統的工芸品の産地指定を受け伝統的工芸品を中心とした生産を続けている。しかし、その商品構成は旧態依然としており、販路も限られているため、組合では活路開拓ビジョン実現化事業(昭和58年度)に取組み、伝統的な技術に新しさを加えた現代的センスの生活用品の開発を推進している。

②桶・樽・小木工品(能代市)

秋田杉の桶・樽業界は昭和59年度の伝統的工芸品産地指定を受け、能代市を中心とした組合組織により事業を進めようとしている。現在、生産されている桶・樽製品の他に、これらの伝統技法を応用した新製品の開発が望まれており、販路開拓とともに当面の課題となっている。

②実施概要

商品プロモーターの指導により、現在生産している製品のデザイン改善をおこなうとともに今後の新製品開発について商品企画、販路開拓などの指導を行った。

①曲わっぱ(大館市)

専門指導員による個別の開発指導。

②桶・樽・小木工品(能代市)

専門指導員による基本指導。

③指導日

①曲わっぱ(大館市)

昭和59年12月10日

②桶・樽・小木工品(能代市)

昭和59年12月11日

④指導場所

①曲わっぱ

大館市

②桶・樽・小木工品
能代市技術開発センター

⑤ 専門指導員

羽生道雄 モノプロ工芸(株)
代表取締役

⑥ 指導対象業種・品目

①曲わっぱ(大館市)

茶器、盆、酒器、台所用品

②桶・樽・小木工品(能代市)

漬物桶、祝樽、台所用品

⑦ 指導対象組合・企業

①曲わっぱ(大館市)

大館曲物曲輪工業(株)

柴田慶信商店

②桶・樽・小木工品(能代市)

能代市工芸品協会

鎌田桶樽製作所

宮城県

宮城県商工労働部商工振興課

地場産業振興係

980 仙台市本町三丁目8番1号

TEL.(0222)63-2111

現地指導員

佐藤明 宮城県工業技術センター研究員

982 仙台市長町八丁目7-20

TEL.(0222)48-4386

① 現状

① 漆器

鳴子漆器は、木地呂塗と竜文塗の塗技術の特徴を有し、木地業3、製造販売業7、塗業9の企業数で、従事者数53人の産地形態であるが、鳴子温泉の土産品として発展してきたため、製品の格調が低く、単品的でトータル性に欠ける現状であった。

しかし、これら漆器は、木製55.6%、プラスチック製44.5%と、最近では本物指向のニーズを受けて木製のウエイトが高まりつつあるようである。

② めん類

白石温麺は、良質の小麦粉と食塩、水とを練り合わせてつくる乾麺で、油を一切使わない自然食品として、藩政時代から370余年の伝統をもっている。

白石布に10企業、蔵王町に3企業存し、奥州白石温麺協同組合を組織しているが、従業員50人以下の企業が11社、100人以下の企業が2社で、産地の年間売り上げ約40億円を実現している。

② 実施概要

① 漆器

9月7日～9日まで「鳴子漆器まつり」が開催されるに際し、9月6日、「漆器の展示方法について」の講演と、その展示方法について実地指導を行った。

② めん類

第1日 経営者意識等の実態把握のための企業個別巡回指導

第2日 産地ブランドの統一、デザインの役割と現状、デザイン開発の事例(スライド)等について講演。

③ 指導日

① 漆器(鳴子)

昭和59年9月6日

② めん類(白石、蔵王)

昭和59年10月8～9日

④ 指導場所

① 漆器

鳴子町商工会館

② めん類

白石商工会議所会議室

⑤ 専門指導員

① 漆器(ディスプレイ)

宇佐波徳美 (有)ウサナミデザイン研究所
代表取締役

② めん類(パッケージ)

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所
代表取締役

⑥ 指導対象業種・品目

① 漆器

ディスプレイデザイン

② めん類

白石温麺(パッケージデザイン)

⑦ 指導対象組合・企業

① 漆器

鳴子漆研会

② めん類

奥州白石温麺協同組合

山形県

山形県商工労働開発部経営指導課
指導係

990 山形市松波二丁目8番1号

TEL.(0236)30-2364

現地指導員

藤田寿夫 山形県工業技術センター
専門研究員

武井呉郎 山形県工業技術センター研究員
羽生田光雄 山形県工業技術センター
研究員

990 山形市沼木字車の前683

TEL.(0236)44-3222

① 現状

山形県のスリッパ製造業は河北町を中心に、繊維製品の出荷額を見る限りでは全国一の産地となっている。しかし、加工高、機械装備額等においては全国のほぼ半分の水準にあり、零細性が強い。また、生産形態は中央の間屋依存が強くほとんど受注生産である。

一方、カーペット製造業においても一部大手を除けばスリッパと同様である。このような現状から脱皮する方策として、1.財務体質の強化、2.新商品開発の体制づくり、3.組合の組織化と活動等が考えられ、その対応が急務とされる。

② 実施概要

商品開発の基本指導

最近の消費生活動向、繊維製品の消費・市場動向、商品企画・デザイン開発の基礎的手法、等をポイントに、専門指導員による講演と質疑応答による講習会を、スライド併用で行った。

③ 指導日

昭和59年9月26～27日

④ 指導場所

山形県西村山地区

⑤ 専門指導員

大川 允 (株)伊勢丹研究所 インダストリアル
デザイン担当ディレクター

⑥ 指導対象業種・品目

スリッパ、カーペット

⑦ 指導対象組合・企業

山形県スリッパ工業組合、31企業
カーペット、5企業

山形市

山形市産業部商工課工業係
990 山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL.(0236)41-1212

現地指導員

藤田寿夫 山形県工業技術センター
専門研究員

武井呉郎 山形県工業技術センター
研究員

羽生田光雄 山形県工業技術センター
研究員

990 山形市沼木字車の前683
TEL.(0236)44-3222

① 現状

山形市は、城下町として最上川舟運による商業都市として栄え、仏壇、鋳物をはじめ様々な職人が軒を並べ、今日までその技術を伝えながら主要な産業となっている。

一方、ニット、食品等、消費者嗜好を考慮した業種も大きな位置を占め、都市型産業構造になってきている。

そこで、多くの業種において商品製作に関わってくるデザインについての認識を深め、事業活動の新しい転換の推進と産業全体のレベルアップを図ることが望まれる。

② 実施概要

基本指導

「地場産業におけるこれからの商品開発計画」をテーマに、市場動向の把握、地場産地の置かれている現状、販売戦略等における企画立案の方法、等について具体事例を通し講義した。

③ 指導日

昭和60年1月18日

④ 指導場所

オースマホテル会議室

⑤ 専門指導員

森口以佐夫 ブレイン(株)代表取締役

⑥ 指導対象業種・品目

鋳物、ニット、缶詰、打刃物、菓子、仏壇

⑦ 指導対象組合・企業

山正鋳造(株)、山形木工(株)、山川製鉄場、
株でん六、他22社

栃木県

栃木県商工労働部経営指導課
商業振興係
320 宇都宮市埜田1-1-20
TEL.(0286)23-3178

現地指導員

新井隆 栃木県商工労働部経営指導課
商業振興係

320 宇都宮市埜田1-1-20
TEL.(0286)23-3178

① 現状

県産品の土産品(食品類および民芸品)の販路拡張の上で、その商品の付加価値を高めるパッケージデザインについての認識がなされていない。

魅力ある商品づくりを目指すために、パッケージデザインの指導が必要とされている。

② 実施概要

基本指導

パッケージデザインの現状と役割について、事例スライドをまじえての講演。
開発指導

出席者が現在使用しているパッケージ、包装紙等について個別アドバイスを行う。

③ 指導日

昭和59年11月28日

④ 指導場所

栃木県産業会館会議室

⑤ 専門指導員

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所
代表取締役

⑥ 指導対象業種・品目

土産品のパッケージ及び包装紙

⑦ 指導対象組合・企業

(社)栃木県物産振興協会
滝沢ハム(株)、本宮製菓(株)、他16社

埼玉県

埼玉県工業技術研究所企画開発部
繊維デザイン課
338 浦和市木崎三丁目10番1号
TEL.(0488)33-1511

現地指導員

大森善夫 埼玉県工業技術研究所
繊維デザイン課課長

町田義明 埼玉県工業技術研究所
繊維デザイン課技師

中島規之 埼玉県工業技術研究所
繊維デザイン課技師

338 浦和市木崎3丁目10番1号
TEL.(0488)33-1511

松村慶身 埼玉県繊維工業試験場
入間支場主任

358 埼玉県入間市仏子766
TEL.(0429)32-2255

① 現状

① 繊維製品(入間市)

管内産業は、所沢、入間、飯能を中心に県南部の綿スフ織物と、小川地区を中心に飯能、越生、深谷の絹織物を主とした関連企業によって構成されている産地である。

特に、シーツ、タオルを中心とした綿製品は、産地全体的には厳しい環境ではあるが、一部企業には活発な荷動きを示しているところもあり、産地企業の中に格差が一段と顕著に現われてきている。

各企業とも高付加価値製品の開発や生産面での合理化に努める一方、新用途、新市場の開拓など強い認識のもとに研究会などを通じて経営改善に努めている状況である。

② アパレル製品(行田市)

管内産業は、アパレルを中心とした縫製業、ニット製造業、丸編靴下製造業を主とした関連企業によって構成されている産地であるが、いずれも厳しい状況に

おかれている。

入間市の綿製品と同様、当産地も市場の変化に的確に対応できる企業とできない企業との格差が大きくなってきている。

そこで、ファッション産業としてますます多様化、高級化が望まれる中、産地業界もマーケットに適応した商品開発、そのためのマーチャンダイジング機能の強化等、基本的な共通重要課題として、強力に取り組んでいる。

②実施概要

①繊維製品(入間市)

基本指導

「商品企画と寝装品のファッション動向について」をテーマに、消費動向の正確な把握、新製品に対する勇気ある挑戦、西川産業(株)のモデルデザインの提示、子供寝具と大人の感性との関係、ギフト展開、等の論点で講演が行なわれた。

開発指導

参加各企業の商品開発(寝装品、タオル、シーツ、タオルケットを中心)について巡回調査し、商品企画デザインの基本的な考え方、また、個々の製品についての多角的検討、等の解説、アドバイスを発しない、新製品開発の指針となるべく指導を行なった。

②アパレル製品(行田市)

基本指導

「商品企画とファッション動向について」をテーマに、今後のユニホームのアイテム、ファッションとユニホームの関係、学生服の基本的考え方、子供服専用の新しいグレーディングの開発、等の論点で講演が行なわれた。

開発指導

参加各企業(藍染、アパレル、ファッション、ユニホームデザイン、カタログ、コートデザイン)を巡回調査し、個々の製品のデザイン、色彩に関するアドバイスならびに新製品開発について具体的な方向付けについて指導した。

③指導日

①繊維製品(入間市)

昭和59年11月20日(基本指導)

昭和60年3月22日(開発指導)

②アパレル製品(行田市)

昭和59年11月6日(基本指導)

昭和59年11月26日(開発指導)

④指導場所

①繊維製品(入間市)

所沢織物商工協同組合会議室

②アパレル製品(行田市)

行田商工センター

⑤専門指導員

①繊維製品(入間市)

楠見 昂 西川産業(株)商品開発部課長

②アパレル製品(行田市)

米倉明人 (株)西武百貨店
商品事業運営部企画政策担当
コーディネーター

⑥指導対象業種・品目

①繊維製品(入間市)

シーツ、タオル

②アパレル製品(行田市)

ワーキングウエア

⑦指導対象組合・企業

①繊維製品(入間市)

所沢織物商工協同組合
倉片(株)

増田繊維工業(株)

②アパレル製品(行田市)

行田被服工業協同組合
(株)熊井商店
(株)アサヒ白衣
(株)チェリーコート

業態は企業数約350、生産額約147億、企業の殆んどが小規模企業である。新製品開発に対する関心は高いが、開発の捉え方、デザインに対する理解に未だの感があり、これらが今後の業界の課題である。

②実施概要

基本指導

各種雑誌に掲載されている生活まわりの商品をもとにしたマップ作りを通して、ターゲットの絞り込みや、商品企画立案の方法、デザイントレンドについての講習会を行った。

③指導日

昭和59年12月17日～18日

④指導場所

小田原市

⑤専門指導員

宇佐波徳美 (有)ウサナミデザイン研究所
代表取締役

⑥指導対象業種・品目

食卓用品——サラダボール、カッティングボード等
室内用品——鏡、ハンガー、収納箱等

⑦指導対象組合・企業

(社)箱根物産連合会

神奈川県

神奈川県工芸指導所
250 小田原市本町1-7-53
TEL.(0465)22-4168

現地指導員

永松千幸 神奈川県工芸指導所
工芸意匠科長

渡辺大晃 神奈川県工芸指導所技師
250 神奈川県小田原市本町1-7-53
TEL.(0465)22-4168

①現状

小田原地方の木製品は、食卓用品、玩具、小箱、室内用品等、多種多様な技術により製品を生産することに特徴があり、国内はもとより海外まで販路をもっている。

滋賀県

滋賀県信楽窯業試験場業務係

529-18 滋賀県甲賀郡信楽町長野498

TEL.(07488)2-1155

現地指導員

河井宏司 滋賀県立信楽窯業試験場主査

福村哲 滋賀県立信楽窯業試験場技師

伊藤公一 滋賀県立信楽窯業試験場技師

529-18 滋賀県甲賀郡信楽町長野498

TEL.(07488)2-1155

①現状

最近の低成長時代においても信楽焼は順調な生産を見せている。しかし、陶器の中でも一番普及品として位置づけられる食器、食卓用品が低迷しており、当産地においてデザインの面で開発指導による活性化が望まれている現状である。

②実施概要

基本指導

今日の食器類は、実用機能から情報機能への移行が見られ、それらの認識と、食器における消費者ニーズの傾向を把握することの必要性について論じた。

その後、各企業個別巡回指導を行った。

③指導日

昭和60年2月7～8日

④指導場所

滋賀県立信楽窯業試験場

⑤専門指導員

佐久間幸 (株)西武百貨店商品事業部

インテリア部バイヤー

⑥指導対象業種・品目

陶磁器製造業、食卓用品

⑦指導対象組合・企業

信楽地区の陶器製造業者

和歌山県

和歌山県経済部産地振興課

振興第一班

640 和歌山市小松原通1-1

TEL.(0734)32-4111

現地指導員

小川幸夫 和歌山県工業試験場

木林工業部長

649-62 和歌山市小倉60

TEL.(0734)77-1271

土井音次 和歌山県漆器試験場次長

642 海南市船尾226-2

TEL.(07348)2-0844

①現状

①漆器

海南市を中心として産地を形成している漆器産業は、歴史が古く室町時代にはじまる伝統的な工芸品産業としてわが国の三大産地に挙げられており、昭和53年には国の伝統的工芸品産業に指定されている。

現在では、合成樹脂を素地とした菓子器、盆、インテリア用品が多くなり、伝統的な木製漆器は5～7%程度となっている。

製品の仕向地は、関東、近畿、九州、中部地方で6割以上を占めており、輸出も近年増加している。

②菓子

県下各地で製造されており、土産用の羊羹、最中などの和菓子の製品が多く、小規模経営が多い。

大手メーカーと比較するとパッケージデザインについては格差がみられ、消費者ニーズに合わせた商品を開発する必要がある。そのため業界においてもパッケージデザインへの関心が近年高まっている。

③家具

本県家具業界は、和家具と洋家具の2業界に区分でき、和歌山市、海南市を中心にして産地を形成している。

主な製品は、婚礼セット、業務用家具、別注家具などであるが、住宅関連事業としての不況を克服するために新製品開発と伝統技法を活かした高付加価値製品づくりが必要となってきている。

②実施概要

①漆器

パッケージの必要性および伝統工芸品としての漆器の持ち味を生かしたパッケージデザインや色彩感覚についての講演、また、参加業者と専門指導員との間で、デザインについて質疑応答が行なわれた。

②菓子

佐賀県小城地区で実施された羊羹のデザイン開発のスライドを参考にし、消費者ニーズに合ったデザイン開発の重要性についての講演と、各業者が持参した菓子パッケージに対してアドバイスを行った。

③家具

「新製品開発の手法を他産地に見る」をテーマに、各地の優れた家具デザインのスライドを参考としながら、和歌山産地の特色を活かした独創的な商品づくり、デザイン開発による商品の高付加価値化、等についての講演が行なわれた。

③指導日

①漆器

昭和60年1月28日

②菓子

昭和60年1月29日

③家具

昭和60年2月15日

④指導場所

①漆器

和歌山県漆器試験場

②菓子

(財)和歌山地域地場産業振興センター

③家具

(財)和歌山地域地場産業振興センター

⑤専門指導員

①漆器、②菓子

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所

代表取締役

③家具

山岸柁史 テキスタイルアートスタジオ

代表

⑥指導対象業種・品目

①漆器(パッケージデザイン)

②菓子(パッケージデザイン)

③家具

⑦指導対象組合・企業

①漆器

和歌山県漆器商工業協同組合

②菓子

和歌山県工業試験場

③家具

(株)小池木工所

(株)ヒロカワファニチャー

(有)長谷川工芸 他9社

広島県

広島県商工労働部商工振興課通商係

730 広島市中区基町10-52

TEL.(082)228-2111

現地指導員

大藤恭一 広島県立工芸試験場

デザイン部 研究員

729-01 福山市柳津町2252-18

TEL.(08485)2-4161

①現状

家具製造業は、当県西部(広島市周辺)、東部(府中市、福山市周辺)に産地を形成し、主要な地場産業となっている。佐伯地区(宮島町、廿日市町、大野町等)には、伝統産業の宮島細工を含めた小木工品の産地があり、広島県佐伯地区デザイン振興協会を組織している。

一方、福山市周辺には前述の家具以外に、はきもの、繊維、服飾、機械金属、邦楽器等の産業があり、これらにデザイン業を加えて、福山地方産業デザイン振興協会を組織している。また、広島市周辺でも、食品業界を中心に広島地域産業デザイン振興協会を組織している。

いずれの業種もデザインに対する関心は高まっているが、経営的視点にたつてデザイン活動をどう位置づけ、どう管理、評価していくか等、デザイン活動やデザインのマネジメントに関する理解や意識はまだ非常に希薄であり、その点が今後の指導課題である。

②実施概要

基本指導

「経営資源としてのデザイン」をテーマに講演が行なわれたが、主に、高度情報化時代と地方におけるデザイン活動、「地方であること」を武器にするための方法論、

地方におけるデザイン・ネットワークのデザイン、等の視点から、「経営者にデザイン・マインドを、デザイナーにビジネス・マインドを、この両輪をバランスよく仕掛けられるような活動が必要ではないか」という結論を得ることができた講演であった。

③指導日

昭和59年12月13日

④指導場所

福山商工会議所

⑤専門指導員

坂下 清 シャープ(株)

取締役総合デザイン本部長

⑥指導対象業種・品目

家具、はきもの、木製品、デザイン業、その他生活用品関連業種

⑦指導対象組合・企業

府中家具工業協同組合

福山地方産業デザイン振興協会

マイケイ木工(株)

府中木工(株)

(株)テクニカ 他

鳥取県

鳥取県商工労働部通商観光課通商係

680 鳥取市東町一丁目220

TEL.(0857)26-7221

現地指導員

藤本章 鳥取県工業試験場産業工芸科長

680 鳥取市秋里390

TEL.(0857)22-8321

①現状

本県においては、長い歴史と風土の中で数多くの特産品が生産されているが、それらは主に品質内容の技術開発に中心がおかれ、デザイン面においては印刷業者、デザイナーに委ねることが多く、企業としてのポリシーに弱い面があるため、商品価値に合ったパッケージデザインの開発の認識と理解を深め自社製品の付加

価値を高める必要がある。

特に観光土産品は県外者を対象とし、食品はその中心をなすものであり、地域特性を生かし購買意欲を高めるパッケージデザインの開発が強く望まれている。

②実施概要

開発指導(個別指導)

現地工場において、観光土産品としての食品に対する消費者ニーズと地域特性に合った既存パッケージデザインの改善のための助言指導を行った。

基本指導(集団指導)

観光土産品としての食品に対する観光市場の動向と消費者ニーズと地域特性に合った特色あるパッケージデザインの開発の在り方について集団指導を行った。

③指導日

基本指導 昭和60年3月15日

開発指導 昭和60年3月14日～15日

④指導場所

基本指導 鳥取県立社会教育センター

開発指導 (有)亀甲屋、(有)玉藤商店、

(有)京屋菓舗、(有)和楽、

(有)前田商店

⑤専門指導員

藤田 実 (株)YAOデザイン研究所

チーフデザイナー

⑥指導対象業種・品目

観光土産品向け食品製造業パッケージ

⑦指導対象組合・企業

鳥取県観光土産品協議会

鳥取県物産協会

鳥取県菓子工業組合

香川県

香川県経済労働部企業振興課
760 高松市番町四丁目1-10
TEL.(0878)31-1111

現地指導員

郡谷文雄 香川県工業技術センター嘱託
761 高松市郷東町587-1
TEL.(0878)81-3175

①現状

小豆島は全国でも有数の醤油産地であり、企業数28社、生産額約100億円である。また、その二次加工品として昆布、海苔の佃煮製造も盛んで、企業数22社、生産額約140億円と島の代表的な地場産業となっている。

また、最近では製品の品質はもとより、パッケージ、商標、マークのデザイン的重要性が望まれているところである。

②実施概要

基本指導

当産地はパッケージデザインの立ち遅れから、その重要性和、全国各地のパッケージのスライドを併用し、パッケージが消費者の商品選択に占める位置についての講演が行なわれた。

③指導日

昭和59年9月28日

④指導場所

小豆島

⑤専門指導員

八尾武郎 (株)YAOデザイン研究所
代表取締役

⑥指導対象業種・品目

醤油・佃煮(パッケージ)

⑦指導対象組合・企業

小豆島発酵食品協会
小豆島醤油工業協同組合
小豆島調理食品協同組合

福岡県

(財)久留米地域地場産業振興センター
830 久留米市東合川町1330
TEL.(0942)44-3700

現地指導員

坂本弘明 福岡県福岡工業試験場
主任研究員

818 福岡県筑紫野市大字上古賀332
TEL.(092)925-7721

①現状

当地域は、久留米絨、八女福島仏壇等の伝統的工芸品を始め、福岡県指定特産工芸品には、久留米籃胎漆器、鍋島緞通、八女竹細工、筑後和傘、また、タオル業も九州におけるほとんどのシェアを占めている。

しかし、デザイン面では他産地(今治等)に比して劣っているのが現状であり、そのための、他産地のデザイン情報、タオル生地他素材への応用、パッケージデザイン等の活性化が望まれている。

②実施概要

基本指導

当地域のタオル業は九州におけるシェアをほとんどを占めているが、デザイン面では他産地に立ち遅れていることを踏まえ、1.他産地の状況(デザイン情報)、2.タオル生地他素材への適用、3.パッケージデザイン、等に論点を絞り講演が行なわれた。

③指導日

昭和60年3月6日～7日

④指導場所

(財)久留米地域地場産業振興センター

⑤専門指導員

山崎昌久 (株)大丸デザイン室
デザイナー

⑥指導対象業種・品目

タオル

⑦指導対象組合・企業

九州タオル工業組合

大分県

大分県商工労働部商工振興課
地場産業係
870 大分市大手町三丁目1番1号
TEL.(0975)36-1111

現地指導員

今仁淳一 大分県商工労働部商工振興課
地場産業係

870 大分市大手町三丁目1番1号
TEL.(0975)36-1111

①現状

昭和54年以来、一村一品運動により数多くの加工品が生産され、地域の活性化に寄与している。

こういった状況を維持し、かつ、さらに進展させていくためには、これら製品の流通促進が重要な課題となっており、特に、産地のメッセージを商品、パッケージにのせることの必要性が望まれている。

②実施概要

基本指導

「最近の売れ筋商品にみられる消費傾向と商品企画およびデザインについて」をテーマに講習会を行ったが、特にパッケージデザインに関して、1.商品の料理法、使用法の明示、2.商品の袋、シール、外箱、包装紙、キャリバック等の色、レタリングの統一、3.同一メーカー商品のパッケージデザインはシリーズ化を図る、4.産地に産地の情報を短いコピーで入れる、等の点が強調された。

③指導日

昭和60年2月28日

④指導場所

大分市農協会館

⑤専門指導員

渡辺和子 (株)伊勢丹研究所ディレクター

⑥指導対象業種・品目

食品製造、販売業

⑦指導対象組合・企業

県下の食品製造・販売業者
(株)オーエスケー、(有)姫野食品、他11社

佐賀県

佐賀県商工労働部商工振興課
地場産業振興係
840 佐賀市城内一丁目1-59
TEL.(0952)24-2111

現地指導員

坂本義弘 佐賀県窯業試験場指導部長
844 佐賀県西松浦郡有田町中部字田
ノ平乙3100-5
TEL.(09554)3-2185

①現状

本県の代表的な地場産業である陶磁器業界を取り巻く経済情勢は、回復傾向にはあるものの国内の長期的需要不振、産地間競争の激化、多品種少量生産によるコスト高、企業間格差の拡大等により依然として厳しい状況にある。

これを打破し産地の活性化を図るためには、デザインの開発により伝統を生かしながらも多様化する消費者ニーズに呼応した新商品の開発、既存商品の改善を図る必要がある。

②実施概要

開発指導(企業個別巡回指導)

伝統を生かしつつも需要動向に対応した品質、デザインのすぐれたオリジナル商品を創り出すためのデザインの開発指導を実施した。

当日、各企業を個別に訪問し、企業の責任者、デザインの担当者等を交えデザインに対する考え方、取り組み方を始め個々の製品についての具体的なアドバイスなどによって指導、懇談が行なわれた。

③指導日

昭和60年2月14日～15日

④指導場所

伊万里市、有田町

⑤専門指導員

榮木正敏 榮木デザイン事務所所長

⑥指導対象業種・品目

陶磁器

⑦指導対象組合・企業

三宅製陶所、瀬貞製陶所、畑萬陶苑、
親和陶磁器、前田製陶所、紅山

鹿児島県

鹿児島県水産商工部商工振興課
商業貿易係
892 鹿児島市山下町14-50
TEL.(0992)26-8111

現地指導員

名越幹朗 鹿児島県水産商工部商工振興
課 主幹兼商業貿易係長
892 鹿児島市山下町14-50
TEL.(0992)26-8111

①現状

①大島紬

本県の代表的な特産品である本場大島紬は、生活様式の変化、多様化等による着物離れ、和装需要の減退等による売れ行き不振に加えて韓国産紬流入等により厳しい現況下にある。

着尺呉服、特に婦人用の着尺織物においては、反物の柄、色彩の良否が直接消費者の購買意欲に大きく影響するので消費者のニーズにあったデザインを作成していくことにより需要の拡大を図っていくことが必要とされている。

②パッケージデザイン

地場産品の中には主に伝統的なものが多いが、カタログ、パンフレット、パッケージデザインおよび商品ネーミング等に対する関心が薄く、製品に個有の特色あるデザインがみられない。

また、地場業者は自社のパッケージデザイン等について包材業者、印刷業者に委ねてしまうなど最近の消費者ニーズの多様化に対するデザインの面からの対応が立ち遅れている。

②実施概要

①大島紬

基本指導・開発指導

本場大島紬の図案について、主に1. 消費者ニーズに対応できる意匠力の強化、2. 斬新な色彩と感覚をもった新商品の開発、3. 生活必需品としてのニーズの把握、4. ターゲットの絞り込み、5. 柄と配色の関係、等を論点に講習会が行なわれた。

②パッケージデザイン

基本指導

パッケージデザインの必要性についてカタログ、パンフレット、商品ネーミング等を踏まえ、食品パッケージの開発モデル事例のスライドもまじえながら、講演が行なわれた。

③指導日

①大島紬

昭和60年3月19～20日

②パッケージデザイン

昭和60年3月19～20日

④指導場所

①大島紬

本場大島紬織物協同組合

②パッケージデザイン

城山会館

⑤専門指導員

①大島紬

林 大功 (社)日本図案家協会会長

②パッケージデザイン

和田 亨 (株)アド・クリエーター
アートディレクター

⑥指導対象業種・品目

①大島紬、②パッケージデザイン

製造業者全般

⑦指導対象組合・企業

①大島紬

本場大島紬織物協同組合

②パッケージデザイン

鹿児島県貿易協会

鹿児島県特産品協会

沖縄県

沖縄県商工労働部観光・文化局
工芸産業課工芸企画係
900 那覇市泉崎二丁目3-2
明治泉崎ビル5階
TEL.(0988)55-6040

現地指導員

平良昭隆 沖縄県工芸指導所主任研究員
901-11 沖縄県南風原町字照屋213
TEL.(0988)89-1186

① 現状

わが国の最西端に位置する与那国島の産業は、農業(主にサトウキビ)および漁業を基幹としており、織物には婦人が従事している。与那国織物は、15世紀頃から織られており、与那国花織等の紋織物と、ミンサー等の平織があり、植物染料を主に使用している。

与那国織物の従事者は、現在63名で年間生産額は、約7,000万円である。近年、日本民芸展や全国伝統的工芸品展等で最高賞を受賞するなど全国的にも高い評価を受けているが、消費者ニーズに合ったデザインが求められている。

② 実施概要

開発指導

「与那国織物のデザイン開発」をテーマに、従来の高齢者層向けから若年層をターゲットとしたデザイン開発について指導を受けた。

主に、和服の原則、色と柄の関係等、約30反のサンプルをもとに、ヤング層へのデザインアプローチについて助言が行なわれた。

③ 指導日

昭和60年3月26日～27日

④ 指導場所

与那国伝統工芸館

⑤ 専門指導員

山岸柁史 テキスタイルアートスタジオ
代表

⑥ 指導対象業種・品目

繊維製品(与那国織物)

⑦ 指導対象組合・企業

与那国町伝統織物事業協同組合

昭和59年度日本優秀デザイン商品開発指導事業専門指導員

宇佐波徳美	(有)ウサナミデザイン研究所代表取締役 〒106 東京都港区六本木6-8-18 六本木文山ビル302 TEL (03) 403-7180	百島祐忠	(株)コンポジットシステム研究所代表取締役 FRP技術協会顧問 〒160 東京都新宿区本塩町21 カーサ四ッ谷803号 TEL (03) 341-1257
榮木正敏	榮木デザイン事務所所長 〒489 愛知県瀬戸市中水野町1271-145 TEL (0561) 48-3991	森口以佐夫	ブレイン(株)代表取締役 〒102 東京都千代田区平河町1-3-6 龍伸ビル5F TEL (03) 237-0616
大川 允	(株)伊勢丹研究所インダストリアルデザイン 担当ディレクター 〒160 東京都新宿区新宿3-14-1 TEL (03) 356-4005	八尾武郎	(株)YAOデザイン研究所代表取締役 〒160 東京都新宿区本塩町9-3 司法書士会館3F TEL (03) 357-3668
小畑広永	(有)HILLO デザイン研究所代表取締役 〒150 東京都渋谷区宇田川町6-11 原宿パークマンション TEL (03) 464-0736	山岸柁史	テキスタイルアートスタジオ 代表 〒158 東京都世田谷区玉川1-12-13 TEL (03) 709-0621
楠見 昂	西川産業(株)商品企画部課長 〒103 東京都中央区日本橋富沢町8-8 TEL (03) 664-8161	山崎昌久	(株)大丸デザイン室デザイナー 〒542 大阪市南区東清水町44 TEL (06) 271-1231
坂下 清	シャープ(株)取締役総合デザイン本部長 〒545 大阪市阿倍野区長池町22-22 TEL (06) 621-1268	米倉明人	(株)西武百貨店商品事業運営部企画政策担当 コーディネーター 〒170 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 TEL (03) 989-0111
佐久間幸	(株)西武百貨店商品事業部インテリア部バイヤー 〒170 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 TEL (03) 989-0111	渡辺和子	(株)伊勢丹研究所ディレクター 〒160 東京都新宿区新宿3-14-1 TEL (03) 356-4005
羽生道雄	モノプロ工芸(株)代表取締役 〒213 川崎市宮前区管生1873-3 TEL (044) 976-0551	和田 亨	(株)アド・クリエイター アートディレクター 〒150 東京都渋谷区神宮前6-33-18-102 TEL (03) 400-7366
林 大功	(社)日本図案家協会会長 〒606 京都市左京区岡崎成勝寺町9-2 日図デザイン博物館内 TEL (075) 761-5381		
藤田 実	(株)YAOデザイン研究所チーフデザイナー 〒160 東京都新宿区本塩町9-3 司法書士会館3F TEL (03) 357-3668		

